

レモングラスな日

7月23日（月）

昨日は盛りだくさん。楼門朝市、まちなか案内所「がばい」のオープン。

そして、レモングラス。

刈り取り。多数の報道陣が。そして、神事。レモングラスの神事は日本で初めてでしょう。

夕方は、「四季のそら」でレモングラスパーティ。関係者の皆さんに集まっていただきました。

挨拶でも言いましたが、レモングラスは構想10年。ホテルオークラ東京で、生葉のレモングラスティを飲んであまりの美味しさに言葉を失ったのがきっかけ。

タイやベトナムで、レモングラス製品が日本人の女性に飛ぶように売られているのを目撃したのが数年前。ひそかに！？レモングラスの研究を進めていました。

実際にその構想を議会でお話したのが、去年の12月。4月の定植式。レモングラス係の大活躍。そして、昨日。

たくさんの皆さんのおかげでここまで来ました。さあ、これからいろんな仕掛けを繰り出していきます。10年近くかかるとは思いますが、武雄のレモングラスが日本の農業のありようを変える。そう実感しています。



武雄市長物語

今回は、ブログで公開されている『武雄市長物語』より6月25日～7月25日分の中からを抜粋して紹介します。

環境

7月14日（土）

今朝、東京から武雄に戻りましたが、台風の影響であれだけ揺れたのは初めて。客室乗務員の皆さんのピクリともしない反応はお見事でした。

そして、今年2月にゴミ袋の広告掲載インターネットオークションを実施しました。この取り組みについて日本工業新聞社が発行している「月刊地球環境」8月号で紹介されています。

今日は一つ考えていることを。それは草履。ここでお願いがあります。一つは、手作りで大量生産をしてほしいということ。市内生産者の皆さんを募りたいと思います。

もう一つは、旅館・ホテル、飲食店、福祉施設など広い意味での公共スペースをお持ちの皆さん、ぜひ、草履を使ってほしいということです。



来年の冬に、とある大きな仕掛けを行います。多くの皆さんがここ武雄にお越しいただきます。

環境への配慮（古布等の再生）、ぬくもりのある手作り感などを演出するためにも、これから、草履の存在を念頭に置いていただければと思います。

具体的にはまたいつかお知らせします。

環境に向けて何が具体的にできるのか、今日は2つに絞ってお話しました。